

教育長 あいさつ

三次市教育委員会 教育長 松村 智由

三次市教育委員会は、今年度も市内の力を結集し「高い志をもち 夢に挑戦し自立を図るとともに、他者と協力し、住み続けたいまち三次の実現に貢献する心豊かでたくましいひとづくり」を進めます。

教育はひとづくりであり、まちづくりの基盤です。三次市では、「三次市子どもの未来応援宣言」を策定し、平成29年12月市議会定例会において可決いただきました。本宣言は、「すべての子どもたちが大切にされ、生まれ育った環境にかかわらず、それぞれの個性や能力を伸ばせる三次市」、「子どもの貧困や虐待、いじめなどにも、関係機関や地域がしっかりと連携して継続的かつ実効性のある支援をする三次市」、「将来の夢や目標の実現に必要な社会性や学力の習得、自立した大人としての活躍を応援する三次市」の実現を図ることを目的としています。

学習環境の整備におきましては、すべての学校において電子黒板を各階で1台以上、特別支援学級においても各教室で1台活用できるよう導入するなど、ICT環境を充実させます。

また、平成31年4月には、県立三次中学校の開設が決定しました。子どもたちにとっては、小学校卒業時点でこれまで以上に多様な夢や希望を実現するための選択肢が広がることとなります。市内の子どもが自分の夢や希望を実現するため、めざす学校で学ぶことができるよう、確かな学力を付けていくことは、三次市が行う教育の使命と考えています。

学校給食におきましては、調理場の老朽化等への対応を行い、市内すべての児童・生徒に安全・安心な給食を可能な限り同じ条件で安定的に提供していくため、学校給食調理場の再編に取り組みます。

学校教育におきましては、引き続き市費採用教員を配置し、児童・生徒一人ひとりの基礎・基本の定着を図り、確かな学力を付けるため、少人数学級編成や少人数習熟度別授業、複数の教員による指導を実施します。また、学校支援員も引き続き配置し、特別な配慮が必要な児童・生徒等へ学習支援を行うなど、学校教育の充実に向け、きめ細やかな支援を行います。

外国語教育におきましては、平成32年度から実施される次期学習指導要領を先行実施し、小学校における英語の学習時間を、5・6年生では年間70時間、3・4年生では年間35時間で実施します。なお、複式学級においても、計画的に授業が行えるよう年間指導カリキュラムも作成しています。また、引き続き中学校での英語検定4級以上のチャレンジに向け、検定料を全額補助し、さらに今年度は、小学校での英語検定5級受験者へも全額補助を拡大します。その他、イングリッシュキャンプやALT（外国語指導助手）の活用によるコミュニケーション能力の育成をさらに充実させてまいります。

スポーツ・文化の振興におきましては、子どもたちの豊かな心を培い、多様な個性を育むため、三次市民ホールや奥田元宋・小由女美術館をはじめとする4つの美術館や人形館、みよし運動公園などを活用し、本物の芸術・文化・スポーツに触れる機会を提供していきます。今年度は、子ども議会での提案に応え、子ども映画上映会を開催します。

市内の文化財に係る取組としては、史跡寺町廃寺跡整備事業において、発掘調査を行うとともに、引き続き文化財副読本作成事業を実施し、地域の歴史・伝統・文化を育み、継承するまちづくりを進めます。

また、社会教育・生涯学習の取組として、家庭教育支援のしくみづくりの検討や魅力ある講座の実施を行います。

今年度も三次市の教育に対し皆様のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



【平成30年度三次市小・中学校長会役員】

小学校校長会役員

会長 森安 亮子 田幸小学校
副会長 坂田 邦彦 十日市小学校
副会長 飯田 直美 三和小学校
幹事 深田真規子 河河小学校
幹事 長手 麻美 三次小学校

中学校校長会役員

会長 十代田雄治郎 君田中学校
副会長 大原 俊哉 十日市中学校
副会長 小丸 幸則 八次中学校
事務局 池田 誠 布野中学校